

令和4年度九州ブロック協議会の活動（案）

令和4年2月21日
九州地方環境事務所

1 九州ブロック協議会

- ・ 開催回数：2回（6月下旬、2月下旬を想定）
- ・ 開催方法：ハイブリッド開催（不可の場合はWeb形式）
- ・ 開催場所：第15回 長崎市内（6月下旬）、第16回 宮崎市内（2月下旬、1泊2日）
- ・ 対象：協議会構成員（集合形式の場合1機関1名、Web形式の場合制限なし）
- ・ 2回目第16回は、1泊2日で開催し、1日目午後にブロック協議会、2日目に宮崎県、宮崎市と意見交換及び施設見学を実施（予定）*1

<参考>

- 第14回 令和3年2月21日（オンライン）
- 第13回 令和3年7月15日（佐賀市）
- 第12回 令和3年3月2日（オンライン）
- 第11回 令和2年2月20日（大分市）
- 第10回 令和元年9月2日（熊本市）
- 第9回 令和30年10月16日（福岡市）

2 「広域連携チーム」の図上演習

大規模災害が発生した場合に備え、「広域連携チーム」の活動を演習することにより、連携チームの習熟度を高めるとともに、改善を図っていく。

- ・ 開催回数：2回（7月下旬、1月を想定）
- ・ 開催方法：ハイブリッド開催（不可の場合はWeb形式）
- ・ 開催場所：福岡市内（2回）
- ・ 対象：協議会構成員（複数可）

3 行動計画改訂作業

- ・ 令和3年度に取りまとめた改定案を基に、令和4年度中に検討・改訂を行う

4 調査業務

・ 令和2年度にブロック内連携の一助とするため九州ブロック内の廃棄物処理施設についてリスト化し構成員間で情報共有を図っている。今回、当該リストの中で、一般廃棄物処理施設については施設の処理対象エリア外から災害廃棄物の受入処理を行った処理施設について、産業廃棄物処理施設については災害廃棄物の受入処理を行った施設について、受入基準等を調査・整理し災害時の参考資料として構成員間での情報共有を図る。

対象とする災害は、平成29年九州北部豪雨以降の九州・沖縄地区内で発生した災害。

・ 九州・沖縄各県内に所在する危険物取扱施設の所在状況（施設の一覧、分布状況等）について、公表されている情報を基に作成する

5 その他（ブロック協議会の活動としては捉えない）

○人材育成研修の開催

災害廃棄物処理未経験者を主な対象とした災害廃棄物処理に係る研修を行い、災害発生時の対応について、習得する。

- ・開催回数：2回（7月～9月を想定（出水期前が望ましい）、同一内容）
- ・開催方法：Web形式（事務局と講師は、会議室等に参集）
- ・対象：市町村、一部事務組合の災害廃棄物処理担当者（1回100名程度）
- ・講師：2～3名（協議会構成員に依頼する可能性あり）
- ・研修会内容：発災前の事前準備、災害発生時の初動対応、災害廃棄物処理（体験談）、し尿処理対応など

＜過去の研修会＞

- R3年度（被災自治体（相良村）、支援自治体（熊本市）、被災自動車対策）
- R2年度（被災自治体（大牟田市）、専門家の取組み）
- R元年度（九地整の取組み、被災自治体（西原村）、ドローン活用）

- *1 2回目のブロック協議会については、該当自治体、該当施設の了解が得られた場合に意見交換会、施設見学を実施
- *2 予算は、九州地方環境事務所の令和4年度委託業務「令和4年度大規模災害時における九州ブロックでの広域的な災害廃棄物対策に関する調査検討業務」を活用
- *3 1及び2について、現地参加された構成員1機関1名について旅費を支給